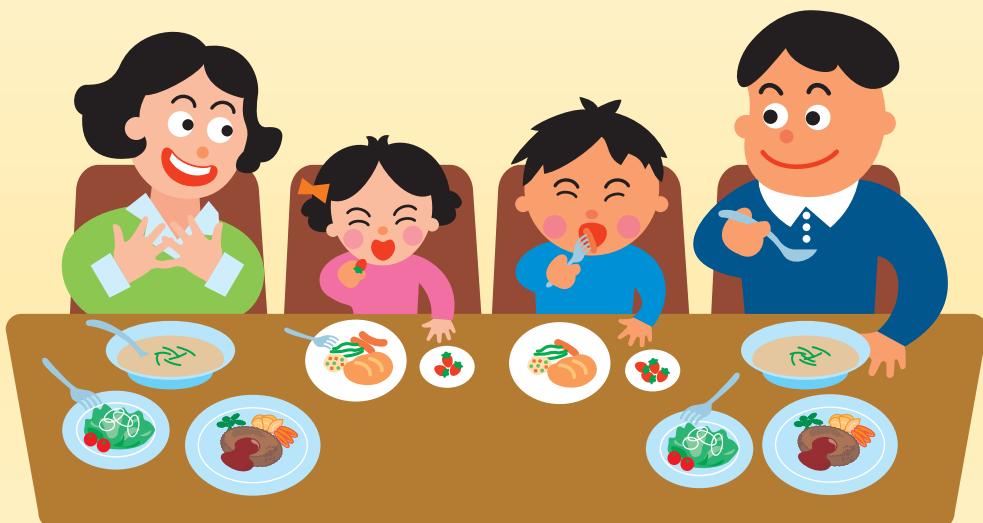


ちいさなお子さんための食中毒予防

ほごしゃかた
～保護者の方へ～



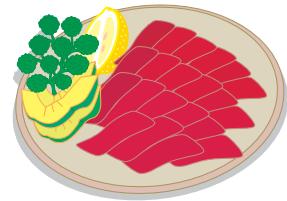
ちいさなお子さんは、食中毒になった場合に重症化やすい傾向があります。食品が細菌やウイルスに汚染されているかどうかは目で見てもわかりませんので、小さなお子さんの食事にはちょっとした注意が必要です。

ちゅうい ひつよう しょくひん 注意が必要な食品は…?

なまにく なまたまご なま ぎょかいるい かねつ しょくひん
生肉、生卵、生の魚介類などの加熱していない食品は
ちい こ た 小さなお子さんには食べさせないようにしましょう!

1 生肉 ~牛レバ刺し、ユッケ、鳥刺し~

なまにく ちょうかんしゅつけせいだいちょうきん
生肉は腸管出血性大腸菌〇157、サルモネラ属菌、
カンピロバクター、肝炎ウイルスなど、比較的重症化し
やすい細菌などが付着していることがあります。感染すると
命にかかる危険性もあります。

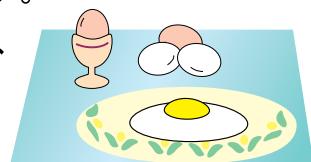


やきにく 焼肉・バーベキューの注意事項

なまにく ふはしふか かねつにく
生肉に触れた箸を使って、加熱したお肉をお子さんに食べさせていま
せんか？生肉についていた細菌が箸などについてしまうと、そのままお
子さんの口の中に運ばれてしまいます。実際に、焼肉やバーベキューが
原因と疑われる小さなお子さんの食中毒も発生しています。
やきにく 焼肉やバーベキューのときは、生肉専用の箸やトングを用意しましょう。

2 生卵 ~半熟卵、卵かけご飯~

たまご ゾクキン おせん
卵はサルモネラ属菌に汚染されていることがあります。
サルモネラ食中毒による死亡率は0.1~0.2%ですが、
小さなお子さんの死亡事例が多いといわれています。



3 生の魚介類 ~刺身、二枚貝~

なま ぎょかいるい はげ げり おぞくきん にまいがい
生の魚介類は激しい下痢を起こすビブリオ属菌に、二枚貝はノロウイルスに
おせん ぱあい 汚染されている場合があります。

「はちみつ」について

なか きん がほう きん
はちみつの中にはボツリヌス菌の芽胞（菌のカプセルのようなもの）が
はい にゅうようじ さいみまん かんせん ぜんしん だつりょく こきゅう
入っていることがあります。乳幼児（1歳未満）が感染すると全身の脱力、呼吸
こんなん しょうじょう うじょう かねつ しめつ
困難などの症状であります。通常の加熱では死滅しません。

さいみまん こ た
1歳未満のお子さんにはちみつを食べさせないようにしましょう

しょくちゅうどくよぼう げんそく しょくちゅうどくきん 食中毒予防の3原則は、食中毒菌などを 「つけない」「ふやさない」「やっつける」!!

つけない

- 手をしつかり洗い、消毒する
- 原材料をしつかり洗う
- まな板、包丁などの調理器具をしつかり洗い、消毒する

特に肉や魚、卵などを扱った後は、しっかりと手と調理器具を洗い、消毒しましょう。



ちょうりきぐ しょくどくほうほう れい 調理器具の消毒方法の例

- 器具を洗った後、熱湯を十分にかける
- 洗った後の器具を家庭用塩素系消毒剤（漂白剤）に浸し、よく水ですすぐ

※薬剤は使用方法をよく確認し、正しく使用してください。（塩素系消毒剤と他の薬剤を混合すると有毒ガスが発生する場合があります。）

ふやさない

- 肉・魚・卵その他温度管理が必要な食品は冷蔵庫で保管する
- 冷蔵庫に食品を詰めすぎない（目安は容量の7割程度）
- 調理後の食品は室温に長く放置しない

食中毒細菌の多くは、10°C以下で増殖がゆっくりとなり、-15°C以下で増殖が停止します。家庭用の冷蔵庫では十分に冷却されていない場合もありますので、あまり冷蔵庫を過信せず、食品は早めに食べましょう。

やっつける

- 中心までしつかり加熱する（85°C、1分以上）

ただし、加熱に強い細菌などもいますので、加熱後の食品は室温で放置せず、なるべく早く食べましょう。



手洗いの手順

～30秒以上の手洗いが原則です～



①石けんをつけて手のひらをよくこります



②手の甲をのばすようにこります

水分を含んだタオルは細菌が増殖しやすい環境になっています。手洗いで細菌を洗い流した手が、また細菌に汚染されないようにするために、ペーパータオルなどを利用しましょう。特にタオルの共用は危険です。

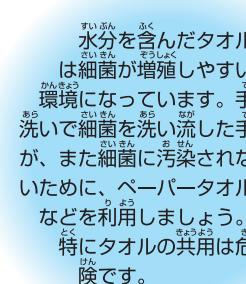


手洗いスタート!

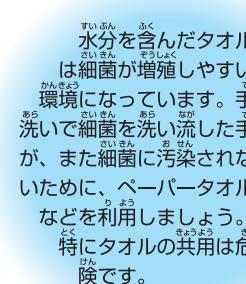
手洗いは、食中毒だけでなく風邪やインフルエンザ予防にも効果的です!! 帰宅時やトイレの後などはしっかり手洗いしましょう。



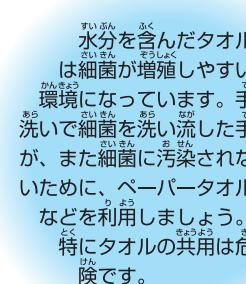
③指先、爪の間をこすってください。爪ブラシなどを使用することにより効果的です



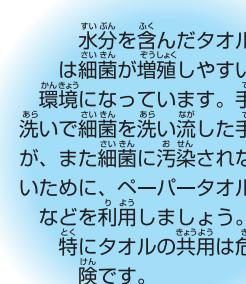
④指の間を洗います



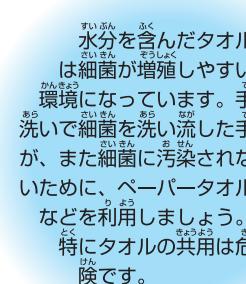
⑤親指と手のひらをねじりながら洗います



⑥ペーパータオルや清潔なタオルで水分をふき取ります



⑦流水で石けんを十分に洗い流します



⑧手首も忘れずに洗いましょう

汚れは残っていませんか?

爪の周りや指の間・親指の周りなどは、しっかり手洗いをしないと汚れが残りやすい部分です。十分に汚れが落ちるよう、特に注意して手洗いしましょう。



■特に汚れが残りやすい部分
■比較的汚れが残りやすい部分